



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 名糖産業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 2207 URL <http://www.meito-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三矢 益夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 山崎 潔

TEL 052 521 7111

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,334	8.3	27		628	217.0	577	225.6
2020年3月期第1四半期	4,923	2.1	250		198	48.2	177	39.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,584百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 2,360百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	34.16	
2020年3月期第1四半期	10.49	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	68,631	42,487	61.9
2020年3月期	66,949	41,274	61.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 42,487百万円 2020年3月期 41,274百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				22.00	22.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,700	3.1	80		850	204.5	780	28.2	46.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	17,265,000 株	2020年3月期	17,265,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	370,328 株	2020年3月期	370,233 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	16,894,736 株	2020年3月期1Q	16,895,071 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、企業の景況感が大幅に悪化しました。製造業の多くは販売需要の低迷により生産が落ち込み、非製造業も外出自粛の影響が直撃して厳しい事業環境が続きました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、新型コロナウイルスによる経済の停滞が、雇用・賃金への不安による消費の冷え込みを招く一方で、外出自粛が広がって、巣ごもり生活による需要の拡大もみられました。

こうした情勢のもと、当社グループは、職場での新型コロナウイルス対策を徹底するなかで、商品の安全性確保と品質管理体制の強化に引き続き注力するとともに、高付加価値商品の提供を推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて8.3%増の5,334百万円となりました。営業損益につきましては、新チョコレート工場の減価償却費の負担が重いものの、売上高の増加に伴って前年同期より改善して27百万円の営業損失となりました。前年同期は250百万円の営業損失でありました。また、経常利益は、営業損益の改善に加えて受取配当金の増加などにより、前年同期と比べて217.0%増の628百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、特別利益に固定資産売却益155百万円を計上して、前年同期と比べて225.6%増の577百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

食品事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による消費者の消費行動の変化が進むなか、主力の菓子部門は巣ごもり需要の高まりなどにより増収となりました。チョコレート類は、「アルファベットチョコレート」などのファミリーサイズの商品が売上を大きく伸ばして増収となりました。キャンディ類は、自社商品の売上が落ち込みましたが、受託商品の売上が増加したことにより増収となりました。

粉末飲料部門は、巣ごもり消費などにより、分包アソートタイプの「スティックメイト」シリーズや「レモンティー」などの売上が拡大して増収となりました。

主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、受託商品の売上が減少しましたが、自社商品の売上が堅調に推移して増収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースペーカーは、主力のバウムクーヘン類が苦戦しましたが、ゼリー類が売上を伸ばしたことなどにより前年同期並みの売上となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ7.6%増の4,731百万円となりました。営業損益につきましては、売上高の増加に伴う売上原価率の改善などにより36百万円の営業利益となりました。なお、前年同期は82百万円の営業損失でありました。

化成品事業

酵素部門につきましては、海外を主な市場としているチーズ用凝乳酵素「レンネット」が苦戦して売上を落としましたが、脂肪分解酵素「リパーゼ」が国内・海外ともに売上を伸ばして微増収となりました。

また、薬品部門につきましては、医薬品、X線フィルムなどの原料用の「デキストラン」の売上が拡大して増収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ17.4%増の528百万円となりました。営業損益につきましては、売上原価率の改善や販売費の減少などにより72百万円の営業利益となりました。なお、前年同期は37百万円の営業損失でありました。

不動産事業

不動産事業につきましては、売上高は前年同期に比べ1.0%減の74百万円となり、営業利益は前年同期に比べ2.9%減の30百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ354百万円増加し、11,803百万円となりました。これは、現金及び預金が833百万円増加したことや、受取手形及び売掛金が893百万円減少したこと、商品及び製品が188百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,328百万円増加し、56,827百万円となりました。これは、保有する株式の株価の上昇などにより投資有価証券が1,486百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1,682百万円増加し、68,631百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ177百万円増加し、5,681百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が235百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ292百万円増加し、20,463百万円となりました。これは、長期借入金が205百万円減少したことや、保有する株式の株価の上昇などにより繰延税金負債が521百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ470百万円増加し、26,144百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,212百万円増加し、42,487百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が1,035百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響など先行き不透明な状況が続くと予想されますが、当第1四半期連結累計期間は、概ね当初の想定した範囲内で推移しております。現時点では通期の連結業績予想につきましては、2020年5月13日に公表いたしました数値を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,245	4,079
受取手形及び売掛金	4,412	3,519
有価証券	1,300	1,400
商品及び製品	1,018	1,207
仕掛品	487	512
原材料及び貯蔵品	941	1,046
その他	82	72
貸倒引当金	△39	△34
流動資産合計	11,449	11,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,131	9,951
機械装置及び運搬具（純額）	8,881	8,996
その他（純額）	4,685	4,571
有形固定資産合計	23,698	23,519
無形固定資産	98	97
投資その他の資産		
投資有価証券	31,501	32,987
その他	229	251
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	31,701	33,210
固定資産合計	55,499	56,827
資産合計	66,949	68,631

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,051	2,286
1年内返済予定の長期借入金	835	835
未払法人税等	52	38
返品調整引当金	4	3
その他	2,559	2,517
流動負債合計	5,504	5,681
固定負債		
長期借入金	11,995	11,790
繰延税金負債	4,763	5,285
役員退職慰労引当金	12	12
退職給付に係る負債	2,831	2,847
その他	567	527
固定負債合計	20,170	20,463
負債合計	25,674	26,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,313	1,313
資本剰余金	76	76
利益剰余金	26,839	27,045
自己株式	△707	△707
株主資本合計	27,522	27,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,638	14,674
退職給付に係る調整累計額	113	85
その他の包括利益累計額合計	13,752	14,759
純資産合計	41,274	42,487
負債純資産合計	66,949	68,631

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	4,923	5,334
売上原価	3,470	3,578
売上総利益	1,452	1,756
販売費及び一般管理費		
販売促進費	692	761
運送費及び保管費	321	361
給料手当及び賞与	359	383
退職給付費用	18	1
役員退職慰労引当金繰入額	0	0
貸倒引当金繰入額	9	△5
減価償却費	29	21
その他	270	260
販売費及び一般管理費合計	1,703	1,784
営業損失(△)	△250	△27
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	347	519
投資有価証券売却益	107	-
持分法による投資利益	16	17
企業立地奨励金	-	139
その他	11	10
営業外収益合計	485	689
営業外費用		
支払利息	12	11
固定資産除売却損	9	15
為替差損	10	1
その他	4	4
営業外費用合計	36	33
経常利益	198	628
特別利益		
固定資産売却益	-	155
特別利益合計	-	155
特別損失		
支払補償金	-	18
特別損失合計	-	18
税金等調整前四半期純利益	198	765
法人税、住民税及び事業税	4	113
法人税等調整額	16	74
法人税等合計	21	188
四半期純利益	177	577
親会社株主に帰属する四半期純利益	177	577

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	177	577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,531	1,035
退職給付に係る調整額	△6	△28
その他の包括利益合計	△2,537	1,007
四半期包括利益	△2,360	1,584
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,360	1,584

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,397	450	75	4,923	—	4,923
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,397	450	75	4,923	—	4,923
セグメント利益又は損失(△)	△82	△37	31	△89	△161	△250

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,731	528	74	5,334	—	5,334
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,731	528	74	5,334	—	5,334
セグメント利益	36	72	30	139	△167	△27

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。